

浄化槽整備による清流回復、水量保全のイメージ

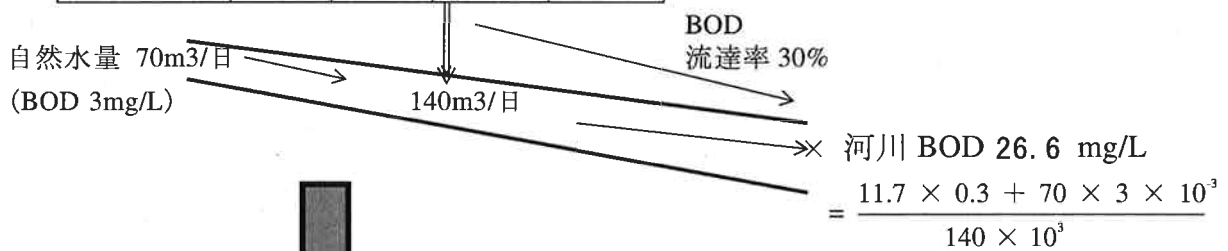
① 浄化槽整備による水量回復のイメージ

排出量原単位

処理形態	水量 L/人・日	BOD量 g/人・日	備考
合併処理	200	4.0	= 40 × 0.1 合計汚濁量:40g/人・日,合併浄化槽除去率 90%
単独処理	200	31.55	= 13 × 0.35+27 し尿:13g/人・日,単独浄化槽除去率 65%
汲み取り	150	27.0	雑排水:27g/人・日

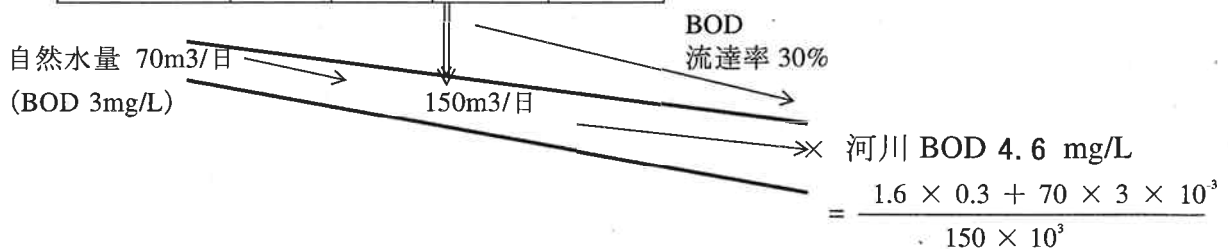
整備前 (河川流量に占める生活排水量の割合50%とする)

生活排水 の 処理形態	世帯・人口		排出負荷量	
	世帯 (戸)	人口 (人)	水量 (m3/日)	BOD量 (kg/日)
合併処理	0	0	0	0.0
単独処理	50	200	40	6.3
汲み取り	50	200	30	5.4
合計	100	400	70	11.7



整備後

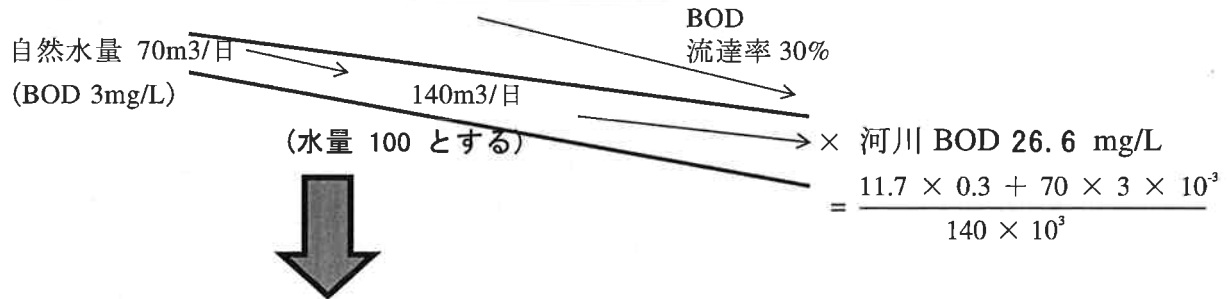
生活排水 の 処理形態	世帯・人口		排出負荷量	
	世帯 (戸)	人口 (人)	水量 (m3/日)	BOD量 (kg/日)
合併処理	100	400	80	1.6
単独処理	0	0	0	0.0
汲み取り	0	0	0	0.0
合計	100	400	80	1.6



② 浄化槽放流水による河川の水量保全イメージ

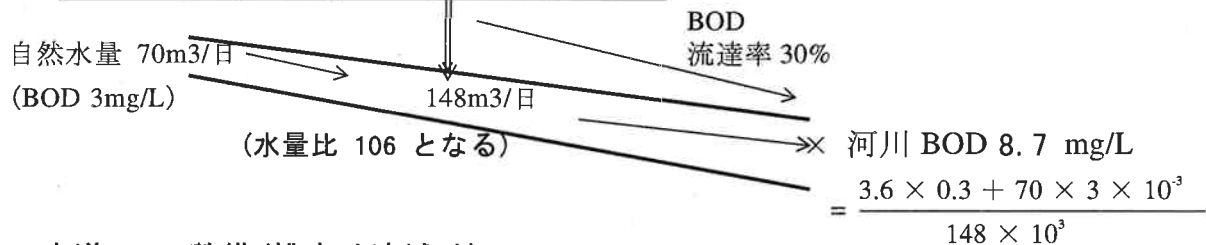
(整備前の河川流量に占める生活排水量の割合50%のとき)

整備前 生活排水の 処理形態	世帯・人口		排出負荷量	
	世帯 (戸)	人口 (人)	水量 (m ³ /日)	BOD量 (kg/日)
合併処理	0	0	0	0.0
単独処理	50	200	40	6.3
汲み取り	50	200	30	5.4
合計	100	400	70	11.7



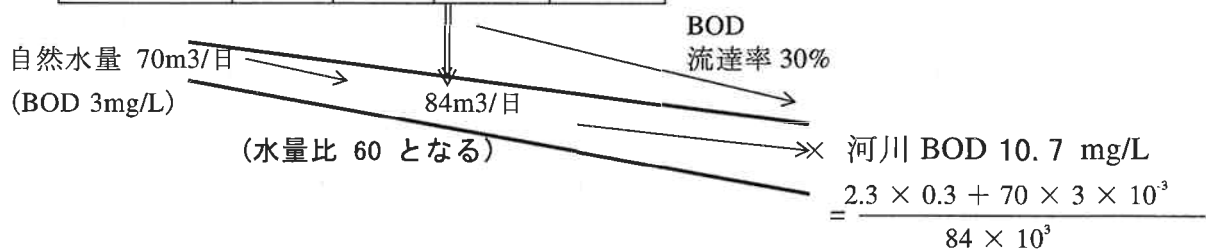
合併処理浄化槽で80%整備

整備後 生活排水の 処理形態	世帯・人口		排出負荷量	
	世帯 (戸)	人口 (人)	水量 (m ³ /日)	BOD量 (kg/日)
合併処理	80	320	64	1.3
単独処理	10	40	8	1.3
汲み取り	10	40	6	1.1
合計	100	400	78	3.6



下水道で80%整備 (排水は流域外)

整備後 生活排水の 処理形態	世帯・人口		排出負荷量	
	世帯 (戸)	人口 (人)	水量 (m ³ /日)	BOD量 (kg/日)
(流域外)	80	320	—	—
単独処理	10	40	8	1.3
汲み取り	10	40	6	1.1
合計	100	400	14	2.3



水生生物との共生事例について

浄化槽整備による効果事例

兵庫県^{たかちょうかみく}多可町加美区

平成17年11月1日に多可郡3町が合併して多可町となり、人口約25,000人の町となった。旧加美町(現多可町加美区)は人口約7200人の町で昭和62年度から「となりの町へきれいな水を流そう」を合い言葉に全町下排水整備が進められた。特に最上流部の集落がいち早く合併浄化槽整備を始め平成17年度末には392基設置されている。また、集合処理も昭和62年度から農業集落排水事業が、昭和63年度からコミュニティープラント事業が整備が進められ、平成5年度末に町内8施設が完成し供用開始された。

これにより、町の南北を貫流する杉原川やその支流の水質も改善され、減少していたホタルも年々増加し、今では阪神間からもホタルの見学に訪れている。また、ばいかもの花も見られるようになっている。

・多可町加美区の概要

多可郡加美区は多可郡3町が平成11年11月1日に市町村合併をして多可町となり、旧町名を残すため旧町名に区を冠して加美区となっている。加美区は多可町の町の北部に位置し兵庫県のほぼ中央部、播磨地域の最北部に位置している。東西6.8km、南北18.7kmで面積が84.06㎡で杉原川とその支流沿いの谷間に25集落が分付し人口は約7200人の町で、面積の85%が山林で占められている。

特産物は、千年の歴史を誇る手漉き和紙のルーツである「杉原紙」があり、兵庫県の重要無形文化財、伝統的工芸品に指定されている。

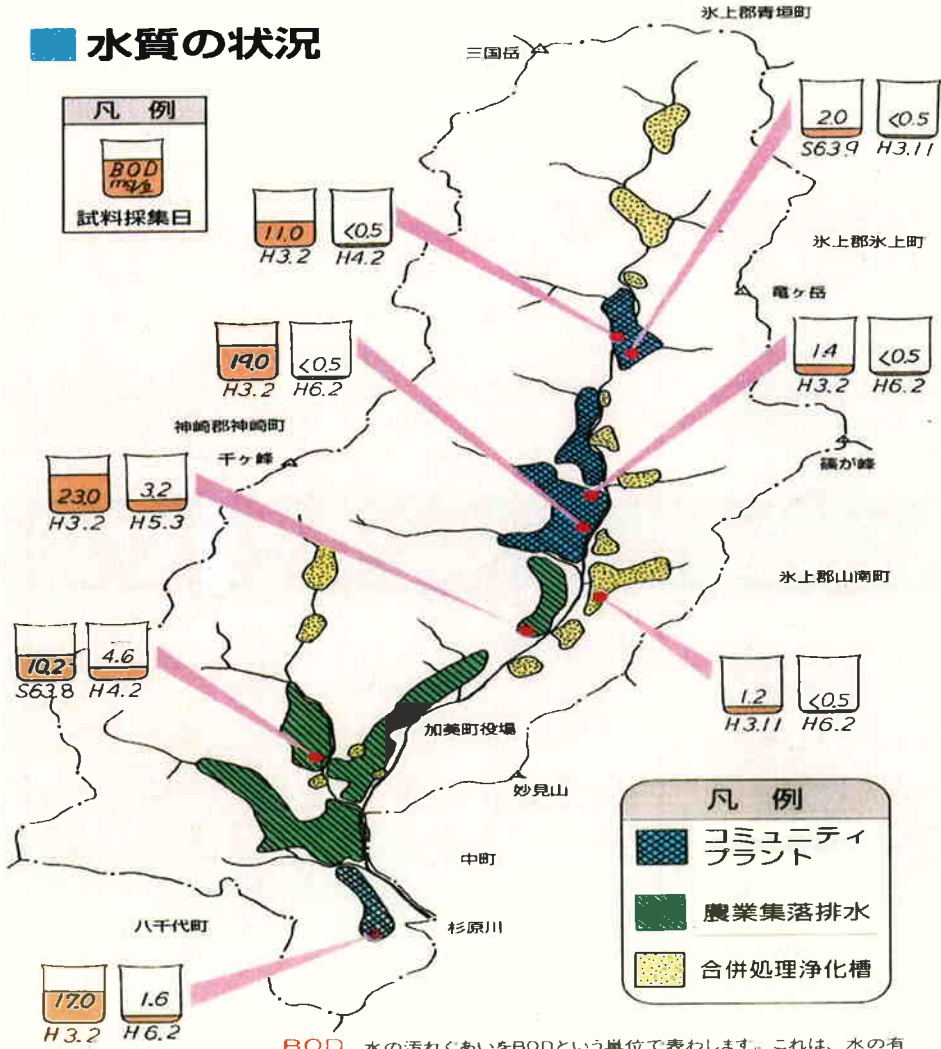


▲観音寺ホタル乱舞



▲杉原川バイカモ

水質の状況



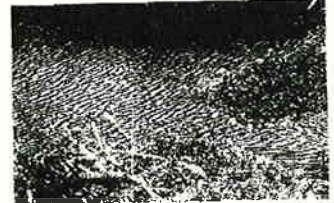
BOD 水の汚れぐあいをBODという単位で表わします。これは、水の有機性の汚れをバクテリアが食べて分解するのに必要な酸素の量のことです。mg/lやppmといった表わし方があります。水が汚れていれば、それだけ酸素の量が必要で、BODも大きな数字になります。逆にきれいな水はBODの値もそれだけ小さくなります。

「となりの町へきれいな水を流そう」を合い言葉に始まった下水道整備。11月末現在の集合処理の水洗化率は97.6%で、小型合併処理浄化槽の普及率は97.2%。これを合わせた町全体の水洗化率は97.5%です。加美町の水がどのくらいきれいになったか、毎年10月所定調査をしています。11月25日の調査では、水の汚れ具合を示すBOD(有機物酸素要求量)の町内平均値は、0.59mg/lでした。県の基準は昨年と同様2.0mg/lで、比較すると加美町の水はきれいだということがよくわかります。これは、石けん使用運動や水酸化など、皆さん一人ひとりの努力の結果でもあります。全町水酸化まであと一息。きれいな環境を子どもたちに残すために、まだ市内工事をなされていないお宅はぜひお早めにお届けします。

町内の水洗化率97.5% 河川の水質検査結果「良」

「となりの町へきれいな水を流そう」を合い言葉に始まった下水道整備。11月末現在の集合処理の水洗化率は97.6%で、小型合併処理浄化槽の普及率は97.2%。これを合わせた町全体の水洗化率は97.5%です。加美町の水がどのくらいきれいになったか、毎年10月所定調査をしています。11月25日の調査では、水の汚れ具合を示すBOD(有機物酸素要求量)の町内平均値は、0.59mg/lでした。県の基準は昨年と同様2.0mg/lで、比較すると加美町の水はきれいだということがよくわかります。これは、石けん使用運動や水酸化など、皆さん一人ひとりの努力の結果でもあります。全町水酸化まであと一息です。きれいな環境を残すために、まだ市内工事をなされていないお宅はぜひお早めにお届けします。

水洗化率96.8% 河川の水質検査結果「良」



この写真は、きれいな水を下水道へ流すには、私たち一人ひとりが生活の中で取り組むことが大切です。

加美 町政スポット
FEB.2005

加美 町政スポット
MARCH.2004

●お問い合わせ
上下水道課 電話 36-82332

浄化槽整備による効果事例 1 (出羽川) いずわがわ

島根県邑智郡邑南町

邑南町は、県中央部中国山地の麓に位置する人口約13,000人の農林業の町です。

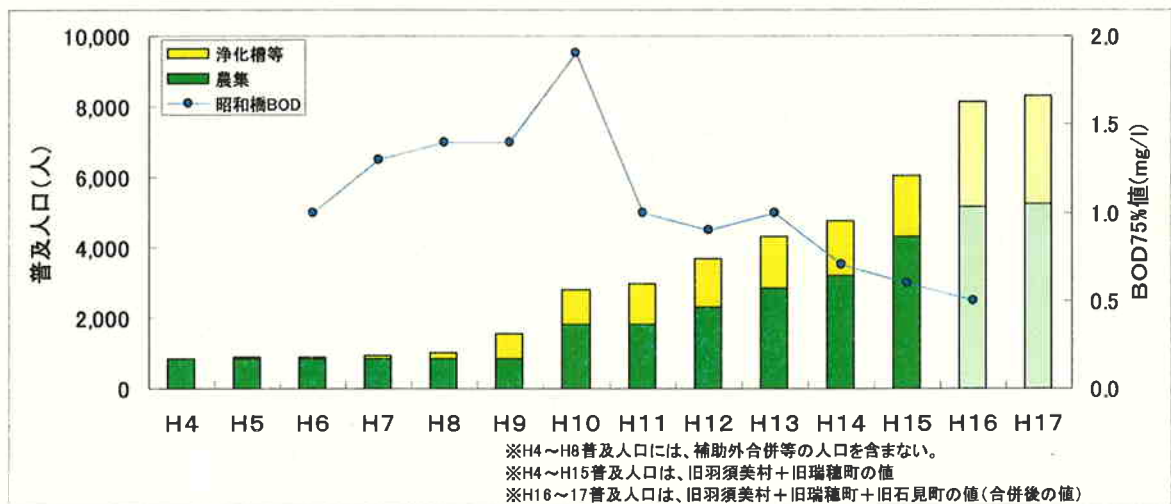
邑南町を流れ江の川に注ぐ出羽川には、国の天然記念物であるオオサンショウウオや、しまねレッドデータブック絶滅危惧I類に指定されているオヤニラミが生息しています。これらの種は、県内でも水の

きれいな限られた河川にしか生息しておらず、産卵の際には特にきれいな水を必要とします。

出羽川では、平成10年まで水質が徐々に悪化する傾向にありましたが、流域の浄化槽事業（年間約40基設置）や農集事業の整備により、近年BOD値が低下しAA類相当の水質までに改善されています。



出羽川の水質と浄化槽・農集普及人口



国の天然記念物であるオオサンショウウオ

レッドデータブック絶滅危惧I類に指定されているオヤニラミ



出典：「しまねレッドデータブック」